

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	災害に強いまち
基本施策名	防災体制の充実

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	山浦 慎司
評価者	都市建設部	部長	坪田 浩昭

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	防災施設の整備について、本市は急峻な地形、脆弱な地質を有しており、複合扇状地という地理的背景から、台風や異常気象によって災害が発生しやすい状況であることから、災害に備えるための水防資・機材を水防倉庫に保管し管理しています。
基本方針 (目指すべき方向性)	防災・減災対策を充実させるとともに、市民の防災意識を高め、地域が主体となって防災活動に取り組むまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H29	H30	H31	達成率	進捗状況	所管課
防災訓練参加者数	人	9,294	12,000		8,143	2,554	21.3	停滞	危機管理課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0108360	水防倉庫施設管理事業	維持担当	797,961	1,120,827	1,222,206			3,140,994	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.2	
2	0108362	水防倉庫改修事業	維持担当		4,093,200	52,684,740	3,823,000	18,015,000	78,615,940	ハード(新規)	継続	令和4	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.43	
合計				797,961	5,214,027	53,906,946	3,823,000	18,015,000	81,756,934						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	災害発生時の水防資・機材の確保は重要課題であり、引き続き毎年の取り組みが必要となります。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	現在ある水防倉庫を統廃合し、効率的な運用を図るため、平成30年度に築58年を経過した貝梅2水防倉庫を解体し、令和元年度に水防倉庫改修事業において、築41年を経過した上原建設課倉庫の解体・新築工事を行いました。今後も引き続き、水防資・機材の管理を適正に行う必要があります。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	第2次安曇野市総合計画策定時の市民アンケート結果では、「地震や台風などへの備えができていないことが今後重要である」との市民の割合が高いことから、災害発生時に水防資・機材を完備していることが必要であり、そのための水防倉庫備蓄資材の管理・補充が必要です。

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	災害に強いまち
基本施策名	治山・治水事業の推進

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	山浦 慎司
評価者	都市建設部	部長	坪田 浩昭

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	治水対策の充実として、本市は松本盆地のすべての水が集まる複合扇状地となっていることから、準用河川、普通河川について市民が安全に安心して暮らせるよう、河川改修及び維持を行う必要があります。
基本方針 (目指すべき方向性)	危険個所のパトロールと解消に努めるとともに、自然環境に配慮した治山・治水対策に取り組み、災害に強いまちづくりを進めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H29	H30	H31	達成率	進捗状況	所管課
土砂災害危険個所存在区における避難体制づくりの取組率	%	12.0	48.5		37.5	43.8	43.8	順調	監理課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数	
1	0108340	河川維持事業	維持担当	8,546,399	11,301,676	15,182,683	19,397,000	10,645,000	65,072,758	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	0.3	
合計				8,546,399	11,301,676	15,182,683	19,397,000	10,645,000	65,072,758						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	令和元年度は、河川維持工事として河川内の河床整備、除草、支障木伐採などを行った。また、準用河川川窪沢川の支障木伐採を実施しました。 河川を整備することで、集中豪雨や台風による河川の氾濫を防ぎ、周辺環境と調和した治水事業を進めます。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	河川改修・維持事業とも、治水の安全を確保する必要があることから、継続した取り組みが必要となります。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	事業実施については、選択と集中による計画的な取り組みが必要となります。

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	事件・事故を防ぐまち
基本施策名	防犯・交通安全の推進

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	山浦 慎司
評価者	都市建設部	部長	坪田 浩昭

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	交通安全施設整備については、「安曇野市交通安全計画」に基づき道路交通環境を改善し、交通事故の防止と交通の円滑化を図るために、効果的かつ効率的に交通安全施設の整備を推進しています。
基本方針 (目指すべき方向性)	防犯や交通安全に対して、一人ひとりが当事者意識を持ち、地域ぐるみの活動が展開される安全・安心なまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H29	H30	H31	達成率	進捗状況	所管課
市内の交通事故(人身事故)発件数の増減率	%	-1.1	-1.1		-2.3	-2.8		順調	地域づくり課
市内の刑法犯認知件数	件(暦年)	469	378		350	318		順調	地域づくり課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0108280	交通安全施設整備事業	維持担当	29,785,641	29,056,644	26,375,992	26,900,000	26,900,000	139,018,277	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.24	
合計				29,785,641	29,056,644	26,375,992	26,900,000	26,900,000	139,018,277						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	区やPTAからの要望を聞きながら、緊急性・必要性に応じ効果的な交通安全施設の整備を行いました。今後も、子供を交通事故から守り、高齢者や障がい者が安全にかつ安心して外出できる交通社会を形成する観点から、引き続き交通安全施設整備への取り組みが必要です。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	交通安全施設整備については、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、交通安全・防犯体制の強化が具体施策として位置付けられています。道路反射鏡や道路標識・道路標示の整備などを、区やPTAからの要望に対し、緊急性や必要性に応じた効果的な整備に取り組んでいます。
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出含)	交通安全施設整備については、交通安全推進の観点からより一層の取り組みが必要となります。これからの課題としては、事業実施にあたり限られた予算を効果的に執行する必要があります。

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	利便性の高いまち
基本施策名	道路整備の推進

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	山浦 慎司
評価者	都市建設部	部長	坪田 浩昭

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	本市では、「安曇野市道路推進計画」「舗装維持管理計画」「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、幹線道路の整備及び橋梁の修繕をしています。また、生活道路については、各区からの改良要望を受けて事業を進めています。しかしながら、第2次総合計画の現状を示すデータを見ると、道路整備の関する市民の評価が低いことから、限られた予算の中でより一層の取り組みが必要となっています。
基本方針 (目指すべき方向性)	長期的視点から、道路や橋の整備と老朽化対策を行い、利便性や安全性が確保された道路環境を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H29	H30	H31	達成率	進捗状況	所管課	
市道舗装率	%		75.6	77.5		76.2	76.5	98.7	順調	建設課
歩道整備率 (改良済5.5m以上)	%		70.5	72.7		69.4	70.0	96.3	順調	建設課

施策指標の進捗状況と分析	幹線道路の整備については、社会資本整備総合交付金を活用しながら、市道の拡幅と歩道設置及び橋梁・舗装の維持補修を行っています。しかしながら、交付金の内示率が低いことから、事業の進捗や事業効果に支障が出ています。生活道路の整備については、各区からの要望に対し、緊急性、必要性、利便性の向上や事業効果の大きさを総合的に勘案し、20路線の事業を実施し、内8路線が完了しました。引き続き選択と集中により継続路線の早期完成を目指します。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0108060	道路維持作業車整備事業	維持担当	2,376,285	2,625,944	2,179,325			7,181,554	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
2	0108120	道路橋梁維持事業	維持担当	341,822,697	332,143,045	288,664,638	289,550,000	289,550,000	1,541,730,380	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	4.81	
3	0108150	除雪融雪事業	維持担当	108,766,036	95,129,041	103,071,173	118,035,000	118,035,000	543,036,250	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	1.3	
4	0108220	市道新設改良事業(市単独)	建設担当	378,677,314	345,955,145	285,411,524	340,000,000	340,000,000	1,690,043,983	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	6.55	
5	0108230	市道新設改良事業(合併特例債)	建設担当	46,478,760	65,099,228	139,008,677	260,000,000	30,000,000	540,586,665	ハード(継続)	継続	令和7以降	現状のまま事業を実施することが適当	2	
6	0108240	市道新設改良事業(交付金)	建設担当	97,658,063	147,387,690	181,874,580	283,000,000	295,000,000	1,004,920,333	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	3	
7	0108250	道路橋梁修繕事業(交付金)	維持担当	141,677,600	136,159,200	118,222,000	177,200,000	173,000,000	746,258,800	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	2.29	
合計				1,117,456,755	1,124,499,293	1,118,431,917	1,467,785,000	1,245,585,000	6,073,757,965						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	社会資本整備総合交付金を活用した事業については、「安曇野市道路推進計画」、「舗装維持管理計画」、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、また生活道路の整備については、各区からの要望に対し、事業を計画的に進めることで、継続して取り組みます。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	道路の整備については、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で利便性の高いまちの実現として位置付けられているため、幹線道路の整備、生活道路の整備、除雪対策について、これらに関連する事業に引き続き取り組みます。
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)	道路の整備については、道路拡幅など改築系の事業と、道路・橋梁の修繕や除雪といった維持・補修系の事業、そして歩道を設置し歩行者の利便性を図る交安系の事業に分類されます。それぞれの事業が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けられていることから、一層の取り組みが必要となります。また、地元要望を受けて実施する事業があり、今後も事業効果や必要性を判断する選択基準などにより、計画的に事業を実施する必要があります。